



シリーズ

武雄の治水

vol.3

～水と共に生きるまちへ～

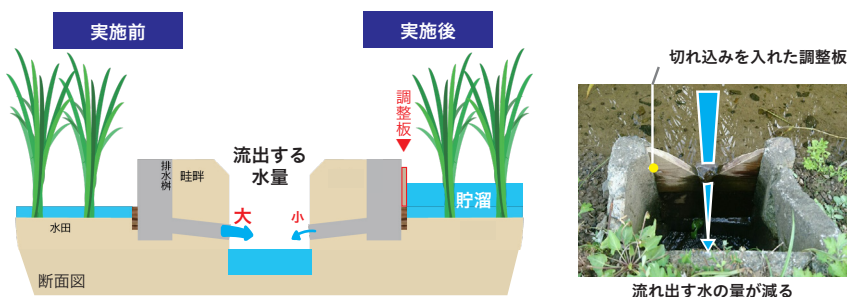
今回のテーマは

田んぼダム

田んぼダムとは、田に雨水を一時的に貯溜する取り組みです。水路や河川への排水を遅らせることで下流域の洪水・浸水被害を軽減する効果を期待しています。県と連携して、田んぼダムの推進に力を注いでいきます。

どういう仕組みで、 どんな効果があるの？

田の排水口に切れ込みや穴を開けた調整板を設置し、大雨時の雨水を一時的に田に溜めることで、水路・河川へ流れる水の量を抑制する効果があります。



どのくらいの水が溜まるの？

■ 100haの水田で田んぼダムに取り組んだ場合

水深 10cm で水を貯留すると

= 10万^mの水量の
一時貯留が可能。

× 185個分
中学校のプール

ご協力をお願いします

市では、県と連携して、六角川上流域を対象に推進していきます。田んぼダムは、たくさんの田で取り組むことで効果が上がります。対象地域の農業者の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

取り組んでいただける方へ

田んぼダムに取り組んでいただける地区の多面的機能支払の活動組織は、「田んぼダム導入協力金」を受取ることができます（要申請）。また、田んぼダムを実施していることを要因とする崩落等の被害を受けた場合は、復旧のための農業者負担部分の補助を受けることができます。

ご注意ください

調整板が排水口を狭めるため、雑草等により切れ込み部が閉塞する場合があります。また、普段溜める以上の水を溜めることがあるため、水位上昇により畦畔の崩落の可能性もあります。そのため、こまめな見回りなどの管理が必要です。



詳しくは 企画部 治水対策課 ☎0954-27-7097
営業部 農林課 ☎0954-23-9335

引き続き治水対策への取り組みは市報でご紹介するとともに、たけおポータルにも掲載します。▶

